

2012年にライスマを立ち上げて、そのあとはライスマ事業の発展と安定に集中してきていて、現地カンボジアにいる日本人との関りはほとんどありませんでしたが、2年ほど前から日本を離れて現地で起業した人たちの集まり、「和僑会」改め「WAOJE」という会に入って、情報交換や問題のシェアなどをするようになりました。話していると、やはり同じような苦勞をしてきているので私も参考にできる場所もありますし、ほかのメンバーの助けにもな繋がることもあります。そういう世界で活躍する「和僑」の集まりの世界大会が今月末に、今年はプノンペン開催ということで、私もそちらのお手伝いになにかと手間を取られてますが、世界のビジネスの最先端の方々と交流できるということで、勉強させていただこうと思っています。総合司会には、なんと、あの、有働由美子アナウンサーが日本から来てくださるということでさらに盛り上がりを見せております。

今回のお客さん紹介はお菓子を作って販売する「レアケナー」さん。

右のようなプノンペン市のはずれの路地を入ったところに自宅兼作業場があります。もち米を水につけて柔らかくして絞ったものを、固めて油で揚げます。4種類のお菓子をこうして作っているということでしたが、たい



てい朝一番で作って市場に納めてしまうということで、残っていたのはこういうドーナツタイプのお菓子だけでした。ひとつ20円くらいということで、私もいただいてみましたが、カリカリ感とカラメルのようなほどよい甘さのタレが上に塗られていて、けっこう何個でもいけそうです。



ライスマからは800ドルを融資しており、その資金で、長いこと使ってきていて故障の多いもち米を絞る機械やその他の道具の買い替えを行うということです。



旦那さんは地雷除去を行う団体で働いていて週末以外はタイ国境に近いところに行っているということで、普段プノンペンのこの自宅にはレアケナーさんと、小学校と中学校に通う子供がここに住んでいます。中学校に通うお兄ちゃんは、将来はお父さんのように人々のためになる仕事がしたいと言っているそうです。立派なお父さんと働き者のお母さんを見ながら、カンボジアのためになる大人に育ってくれるとうれしいですね